

昭和55年国勢調査人口概数と昭和50年国勢調査人口との比較表

区分 市名	昭和55年				昭和50年		増減比較 総数		1世帯 当り 員 (男×100)	性比 (男×100)	人口密度
	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	増 (△)数	減 (○)数			
県計	525,000	1,790,277	850,799	939,478	484,972	1,715,273	75,004	4.4	3.41	90.6	241.6
市計	311,789	980,108	465,117	514,991	283,950	927,102	53,006	5.7	3.14	90.3	687.0
熊本市	179,836	525,613	250,990	274,623	160,118	488,166	37,447	7.7	2.92	91.4	3,060.9
八木市	30,294	108,194	51,155	57,039	28,119	103,691	4,503	4.3	3.57	89.7	739.6
人吉市	13,075	42,236	19,600	22,636	12,239	41,118	1,118	2.7	3.23	86.6	200.4
荒尾市	18,346	61,487	29,323	32,164	17,124	58,296	3,191	5.5	3.35	91.2	985.4
水尾市	11,819	37,150	17,225	19,925	11,234	36,782	368	1.0	3.14	86.4	224.5
玉木市	12,300	44,714	21,138	23,576	11,414	42,837	1,877	4.4	3.64	89.7	495.2
山鹿市	12,505	42,460	20,087	22,373	11,783	40,432	2,028	5.0	3.40	89.8	293.0
山鹿市	9,685	32,837	15,230	17,607	9,162	31,708	1,129	3.6	3.39	86.5	375.5
深井市	7,306	24,003	11,296	12,707	7,052	24,250	△ 247	△ 1.0	3.29	88.9	266.4
牛久保市	7,911	28,460	13,353	15,107	7,697	28,258	202	0.7	3.60	88.4	155.6
宇土市	8,712	32,954	15,720	17,234	8,008	31,564	1,390	4.4	3.78	91.2	443.0

区分 町村名	昭和55年				昭和50年		増減比較 総数		1世帯 当り 員 (男×100)	性比 (男×100)	人口密度
	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	増 (△)数	減 (○)数			
飽託郡	10,745	43,157	20,487	22,670	9,421	39,920	3,237	8.1	4.02	90.4	454.6
北部町	3,900	14,544	6,902	7,642	2,990	12,008	2,536	21.1	3.73	90.3	492.7
河内町	1,997	8,783	4,192	4,591	1,957	8,872	△ 89	△ 1.0	4.40	91.3	255.3
飽田町	2,308	9,240	4,299	4,941	2,015	8,447	793	9.4	4.00	87.0	787.1
天明町	2,540	10,590	5,094	5,496	2,459	10,593	△ 3	△ 0.0	4.17	92.7	549.3
宇土郡	6,347	23,110	10,841	12,269	6,276	23,441	△ 331	△ 1.4	3.64	88.4	297.4
三角町	3,677	13,271	6,190	7,081	3,721	13,787	△ 516	△ 3.7	3.61	87.4	272.8
不知火町	2,670	9,839	4,651	5,188	2,555	9,654	185	1.9	3.69	89.6	338.5
下益城郡	19,871	77,442	36,766	40,676	18,865	75,049	2,393	3.2	3.90	90.4	248.6
城南町	3,819	14,922	7,083	7,839	3,446	13,864	1,058	7.6	3.91	90.4	404.5
富田町	2,068	8,492	4,015	4,477	2,061	8,352	140	1.7	4.11	89.7	430.0
松橋町	4,956	19,493	9,328	10,165	4,434	18,360	1,133	6.2	3.93	91.8	505.9
小野村	3,574	14,179	6,662	7,517	3,510	14,039	140	1.0	3.97	88.6	342.8
豊野町	1,457	5,629	2,647	2,982	1,444	5,608	21	0.4	3.86	88.8	178.3
中央町	1,479	5,384	2,590	2,794	1,419	5,157	227	4.4	3.64	92.7	129.2
砥用町	2,518	9,343	4,441	4,902	2,551	9,669	△ 326	△ 3.4	3.71	90.6	91.8
玉名郡	20,224	77,110	37,228	39,882	19,481	76,670	440	0.6	3.81	93.3	283.7
岱明町	3,590	13,989	6,697	7,292	3,316	13,343	646	4.8	3.90	91.8	630.4
横島町	1,415	5,969	2,889	3,080	1,415	6,111	△ 142	△ 2.3	4.22	93.8	349.5
水東町	1,785	7,652	3,763	3,889	1,755	7,602	50	0.7	4.29	96.8	355.6
玉東町	1,649	6,315	3,005	3,310	1,584	6,281	34	0.5	3.83	90.8	264.1
水南町	1,921	7,320	3,440	3,880	1,896	7,362	△ 42	△ 0.6	3.81	88.7	191.1
菊水町	1,760	6,652	3,182	3,470	1,765	7,064	△ 412	△ 5.8	3.78	91.7	111.9
加和町	3,331	12,498	5,996	6,502	3,326	13,086	△ 588	△ 4.5	3.75	92.2	178.4
三南町	4,773	16,715	8,256	8,459	4,424	15,821	894	5.7	3.50	97.6	868.3
鹿本郡	14,490	57,010	27,078	29,932	13,370	54,199	2,811	5.2	3.93	90.5	205.7
北鹿町	1,551	6,348	3,039	3,309	1,560	6,353	△ 5	△ 0.1	4.09	91.8	73.8
鹿本町	2,079	8,569	4,070	4,499	2,110	8,860	△ 291	△ 3.3	4.12	90.5	111.0
鹿本町	2,471	9,048	4,213	4,835	2,342	8,894	154	1.7	3.66	87.1	495.5
鹿本町	1,508	6,043	2,889	3,154	1,471	6,100	△ 57	△ 0.9	4.01	91.6	195.4
鹿本町	6,881	27,002	12,867	14,135	5,887	23,992	3,010	12.5	3.92	91.0	417.1

注) 1. 会社、官公庁等の独身寮に住んでいる人については、前回までは棟ごとにとまとめて一つの世帯としていたが、今回は一人一人をそれぞれ一つの世帯として調査した。昭和50年の世帯数は55年の定義に基づいて組み替えてある。
2. 昭和50年の人口は、昭和55年10月1日現在の市町村境域に基づいて組み替えた後の数字である。



ここに掲載するものは、昭和五十五年十月一日午前零時現在で、全国一斉に行われた第十三回国勢調査による本県人口の概要です。なお、確定数については概ね本年十月頃までに総理府統計局から公表されることになっていますが、今回の調査結果速報と一致しないことがあります。

総人口

今回の調査結果による本県の総人口は、百七十九万二千七百七十七人で前回の昭和五十年国勢調査の結果と比べると実数で七万五千四人、率で四・四％の増加を示しました。

本県人口は、大正九年の第一回国勢調査から戦前の一時期を除き毎回増加傾向にありましたが、昭和三十年〜三十五年以降は減少に転じ、昭和三十五年〜四十年の間には四・六％の減少をみました。しかし、昭和四十八年の石油ショックを挟み昭和四十五年〜五十年では〇・九％と僅かながら増加に向かい、今回は前回に比べ四・四％の増加となったわけです。

これは、大都市から故郷へのUターンやJターンが続いているもので全国的にも人口増加率の各都道府県間の格差が縮まり、以前の大都市集中が著しかった時期に比べて大きな変化をきたしています。この結果、本県人口は全国二十二位、

市町村別人口

九州では昭和二十二年及び昭和二十五年の国勢調査以来鹿児島県を抜いて第二位となりました。

市町村別には、熊本市が五十二万五千六百十三人になって、初めて五十万大都市仲間入りをし、全国でも第十六番目の都市になったことがあげられます。また熊本市の人口は、本県人口の二九・四％を占めていて、前回の二八・五％よりも高くなりましたので、熊本市への集中が強まっているといえます。

増加率では、合志町の五六・三％、菊陽町の五三・四％が目立ちますが、これらは全国的にみても合志町が第十四位、菊陽町が第十六位ということで、高い増加率となりました。人口が急増した町は、熊本市の北東部に位置し、主に熊本市のベッドタウンとして新興の住宅地が造成され、好条件の宅地を求めて熊本市との境界近くに人口の流入があったものです。また、県内の各生活圏の中で、その中